

むらづくり研修会～新しい集落づくりの第1歩をめざして～ が楽しく実施されました。

これまで農業関係にかかわりのなかった40～50歳代の夫婦を中心に、8月25日(日)に33人の参加者のもと楽しく実施しました。研修先は右記のとおり。

「農業」を意識した研修に参加することで、集落のことや農業のこと、船坂地域のことを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。お疲れさまでした。

その時に簡単なアンケートを行いましたので紹介します。

Q1 研修会の感想

- ・一番印象に残っているのは、「フルーツファーム春日」という回答が多かったようです。
- ・試行錯誤しながらも先を見て新しいことに取り組まれている。これからはこのような考えが必要だ。
- ・農業に取り組む姿勢が前向き。
- ・経営の熱意が伝わってきた。
- ・河村さんの大規模果樹園経営にびっくり
- ・土づくりの大切さを再確認できた。
- ・いかに良い物を作って商品価値を上げていかに努力されていた。
- ・困難な状況の中から工夫し、採算を合わせ実績を作られていたところに、刺激を受けた。
- ・整備された市民農園の開設が船坂でもできればいいな。
- ・市民農園も、滞在型や休憩用の小屋付きが良かった。
- ・市と共にすれば大きな事ができ、うらやましい。

Q2 理想の農業とはどんな農業？

- ・苦労や努力がきちんと実ることが原則！
- ・経営が成り立つ農業
- ・儲かる農業
- ・家族で採算がとれる農業
- ・労働時間を明確にし、給料制などを取り入れた企業的な経営
- ・個人ではなく、組織での農業経営
- ・兼業でも効率的にできる農業
- ・自然との共存
- ・村が潤い、住環境が良くなるような取り組みができれば。
- ・今までどおり田畑をやっていければいい。

Q4 船坂の農業について何か感じていることは？

- ・これからは個人経営から組織(集落)経営を考えながら、都市の人を巻き込んだ農業を考えていくのも一方
- ・整備した市民農園の開設を考えてはどうか。
- ・組織化した運営を考えていくのがいいのでは。
- ・何か行動を起こさなければならない。
- ・観光的な農園を考えてはどうか。
- ・後継者不足が心配。
- ・高齢化がすすんでいるな。
- ・農業に活気がない。環境に恵まれて農業に身が入らないのか…
- ・苦労が実ってない。将来、後を継いでやっていけるかどうか不安。
- ・個人主義、利己主義的な考えがあるのだろうか。
- ・農地をなんとか活かしていきたい。
- ・お米がおいしいよ。

フルーツファーム春日(春日町稲塚 駒谷氏)

稲塚営農組合の取り組みと新たな農業生産・販売方式を実践する観光農園(ぶどう、もも、すもも、さくらんぼ、りんご)の取り組みについて
駒谷さんは、豪快な話しぶりからそのリーダーシップ性が伺えました。営農組合による観光農園の取り組みには、多くの苦労があったことでしょう。
それにしてもあのスモモはみごとでしたね。

大山荘の里(篠山市大山新)

市民農園の概要と取り組みについて

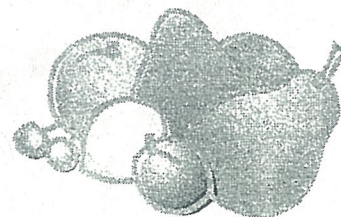
〔小屋付きの市民農園がありました。来年4月にオープンする滞在型の立派な家が建設中でした。〕

石戸観光農園(柏原町石戸 河村氏)

夫婦二人で経営する大規模な観光農園(も

ぎ取り、直接販売)の取り組みについて

〔大規模な経営にも関わらず、労働時間をきっちり決めたメリハリのある経営をされています。〕



Q3 船坂地域で誇りに感じているのは何？

- ・阪神間の奥座敷
- ・自然
- ・立地条件
- ・田畑が残っていること
- ・わからない
- ・ない
- ・すべてが中途半端に感じる…

やはり、船坂地域の「自然」に誇りを感じてられる方が多いようです。自然といっても、「阪神間の奥座敷」的なところがいいのですね。

「自然」を維持していくためにも、自然らしい「自然」を残すのも、「自然」を活かすのも、私たち次第です。

「船坂の農業・農地を考える会」が発足しました（平成15年4月27日）！

準備委員会が中心となって、約1年、アンケートの実施や視察研修会（観光農園・貸し農園）、新しい集落づくり講演会などの活動を行ってきました。これからは、地域の人たちとしっかりとこの船坂地域のことを考えていきたいと考えています。

運営委員さんには、

尾崎 清政さん、西口 敦子さん、山崎 辰治さん、
坂口 文孝さん、平井 雅博さん、坂本 幸隆さん、
坂口 正治さん、鮫貝 典美さん、野口 照之さん、
野口 進さん が選ばれました。お世話になります！

第1回運営委員会(5/12)において、「考える会」の役員を決めました。

会長： 坂口 文孝さん
副会長： 尾崎 清政さん
会計： 平井 雅博さん よろしくお願ひします。

<規約>

(設置及び目的)

第1条 船坂地域の将来の農業・農地のありかたについて協議検討し、集落ビジョンをとりまとめるとともに、その実践を通して、地域資源の活用と豊かな自然環境を活かした活力ある豊かな船坂集落づくりに資することも目的とする。

(構成員)

第2条 本会は、集落の住民及び農地所有者等をもって構成する。

(運営委員会)

第3条 本会に、運営委員会を設置する。

「船坂の農業・農地のこれからの考える意見交換会」

～船坂地域の将来構想をもつために～

6月15日に、今回は50歳代以下の人を対象に検討会を実施しました。28人の出席があり、みなさんが、船坂の農業・農地について思っていること、感じていることなどを出し合いました。



「めったに畑に行かないワ」、「他の畑を見たことないワ」という人のために、検討会に入る前に、平木地区を歩いてみました。

どんなことを感じられたでしょうか？



検討会では5つの班に分かれて、それぞれの思いを出し合いました。そして、各班でまとめたものを簡単に発表しました。ユニークな発表もあり、楽しい検討会になりました。お疲れ様でした。



ここで出し合った意見をふまえて、次に発展させていきます。乞うご期待！！



「船坂の農業・農地のこれからを考える意見交換会」

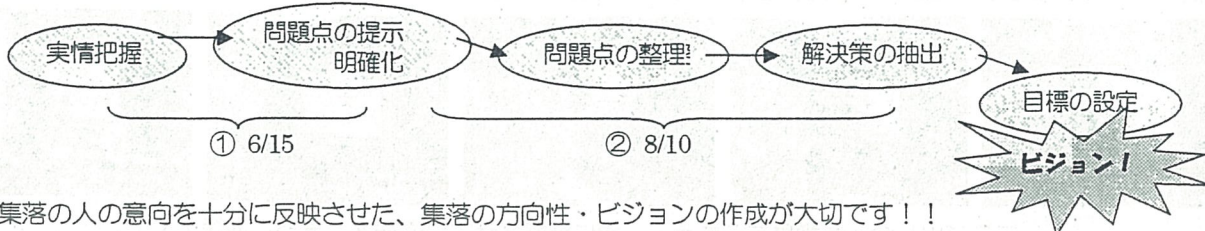
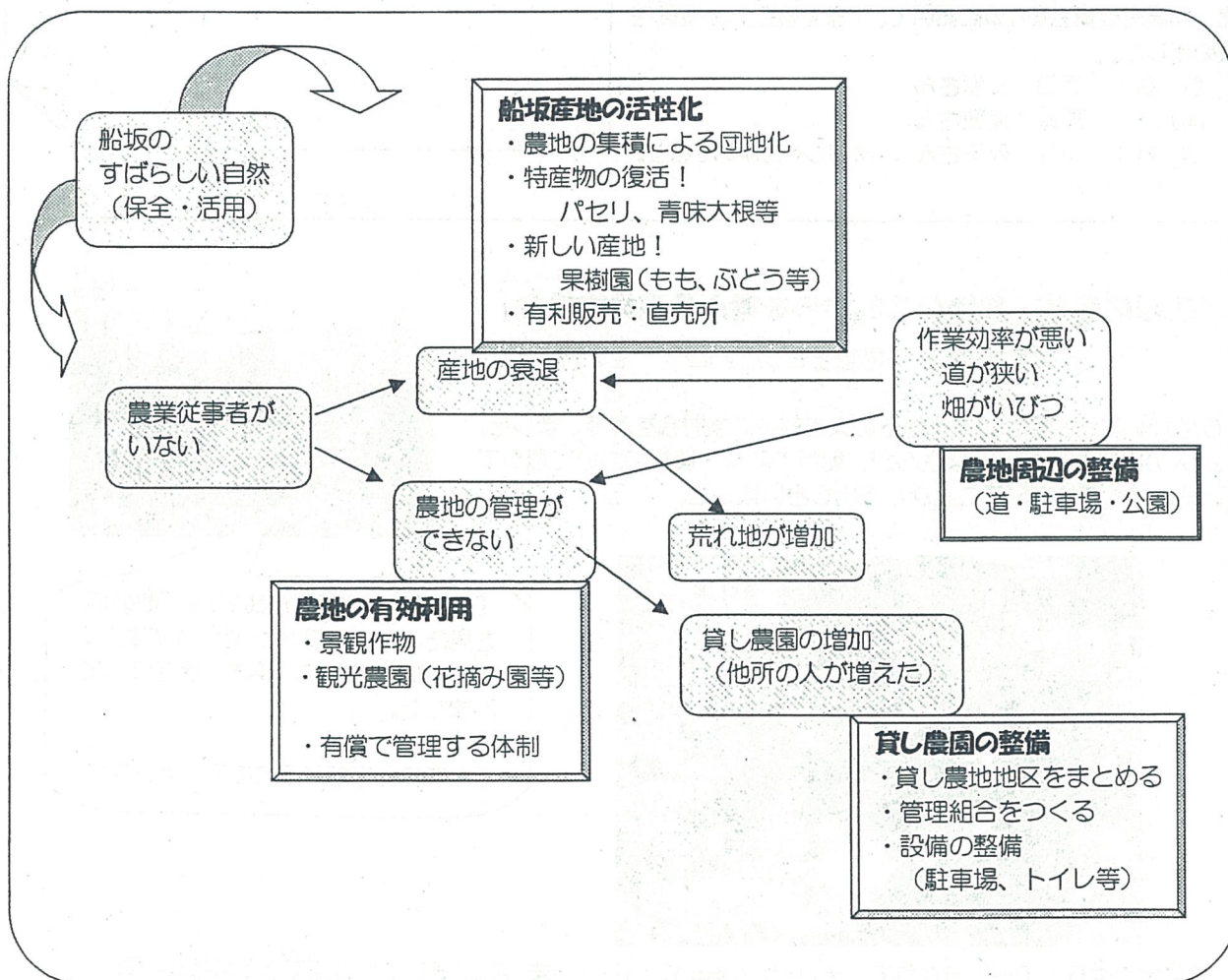
～船坂地域の将来構想をもつために～

「これからの船坂をどうしていったらいいのだろうか？」を考えていくために、意見交換会第1弾を6月15日（28名出席）に、そして第2弾を8月10日（16名出席）に実施しました。



第1弾では、船坂の農業、農地についてみなさんが感じていること、思っていることなどを出し合いました。これにより、船坂農業の現状や問題点が明らかになりました。

第2弾では、第1弾をふまえ「こうしていったらいいんじゃないか」「こんなふうになったらいいな」ということを出し合いました。これらを組み立て、整理することで、解決策のヒントを見つけます。
意見交換会第2弾の意見を裏に紹介します。



船坂の農業・農地を考える会
<運営委員会>

会 長	坂口	文孝
副会長	尾崎	清政
会 計	平井	雅博
	坂口	正治
	坂本	幸隆
	鮫貝	典美
	野口	進
	野口	照之
	西口	敦子
	山崎	辰治

宝塚農業改良普及センター

島田 香

2004.1

〒662-0855
西宮市江上町8-21
兵庫六甲農業協同組合
西宮営農支援センター
TEL0798-34-0322